

# ラヴ・ノート

発行日 2013 年 10 月 18 日



## ～ も く じ ～

- ・ 活動のご報告 (2013.06～2013.09)
- ・ 活動のご報告 (その2)
- ・ Voice -不登校を体験した立場として-
- ・ 伝言板



## 活動のご報告

### ○ 日常的に ○

ラヴニール内が、かなりにぎやかになりました。  
いろいろなものが貼ってあり、いろいろなものが置いてあり、いろいろなものが散らかっており(あ、これは片付けなきゃ！)

相変わらず、いろいろ作っております。

土曜日の合同説明会、それからラヴニールでの何かの集まりのときには、守り神がテーブル上に



彩を添えてくれてます。

手は汚れますが、案外簡単に作れちゃいます。ラヴニールでは、紙粘土で作って乾かし、1週間ぐらいしたら、色を塗り、としています。

さて、その守り神、とは？

気になる方は、一度見学に来てみてください。  
そして、見つけてくださいね♪

### ○ 年間予定 ○

ラヴニール内がにぎやかになったひとつに、「年間予定」があると思います。

壁に貼られているんですが、「いつ、こんなイベントをやりたい」という何となくの想定を立てて作成したもの。

たとえば出かける予定があっても、早くて1ヶ月前ぐらいから話し合うのが精一杯だったラヴニールで、「あ、今月はこんな予定」「来月は・・・」なんていうふうに、ちょっとモチベーションが変わってきます。

ちなみに、「予定」なので、必ずやるとは限らない、でも、盛り上がったらやっちゃおう！それがラヴニール流だと思っています。

## 活動のご報告(その2)

7月末にあった夏合宿には、参加者、スタッフで参加しました。



### ☆ 迷子になった人への道しるべ ☆

私は、この夏に宝塚で開催されました「登校拒否・不登校を考える夏の全国大会2013in関西」に、初めて参加させて頂きました。

子どもたち、保護者の方、フリースクール関係者の方、学生の方等、様々な立場で不登校について思いを持つ方が一つの場所に集まり、思いを共有し、学び、楽しみ、本当に素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。

心に残ることはたくさんありますが、私が一番嬉しかった事は、子どものスペースで、全国から集まる子どもたちの、屈託のない笑顔が輝いていて、一人一人、思い思いの遊びをしているその姿を近くで見ている、胸が熱くなった事です。

この場では、笑顔で過ごしているかもしれない。でも、この場を離れると、小さい胸をいため、頭を抱えて悩んだり、苦しんだり、涙を流している子どもたちの、その瞬間のきらめき“笑顔”を宝物のように感じました。

子どもでいれる時間は少しだけ。人生のまたとない世界、子どもで入れる世界“never land”のような場所があればいいが子どもは、いずれ大人になっ

ていく。子どもでなかった大人はいない。

みんな、生まれてきて、子どもである時間を過ごし、大人になっていく。

その人生のレールの上で人は、どんな困難にであうか分からない。

その人生のレールの上をずっと生きているのが幸せか・・・

もし、レールのうえを歩けなくなったら、又、新しい人生の歩みを見つけていくことの大切さ。

この、合宿に参加させて頂いて、たくさんの方の涙をみました。

涙は、どんな時も自分を表してくれる。

悲しいときの涙。うれしいときの涙。くやしいときの涙。

どの涙も、流せば流すだけ、人間って素敵だと思う。そして、その涙は、きれいだと思う。

笑顔と同じで、その涙も、あなたのことを見ている人、見守ってくれている人が必ずいます。

あなたの笑顔を見たい人がいる。

あなたの優しさを必要としている人がいる。

あなたの声を聞きたい人がいる。

あなたの側で、休ませてほしい人がいる。

そっと寄り添って、肩をかしてほしい人がいる。

みんな、一生懸命に生きている。大人も子どもも、手探りで悩んで生きている。

大人も子どもも同じ人間。それぞれが、またとない、限りない、たった一度限りの人生を生きている。その中で、出会う方は、限られている。出会いを大切に。

疲れたら、立ち止まり、きれいな場所に立ち、心にきれいな空気を入れてくださいね☆

「あなたを大切に思う人がいる。あなたを必要としているひとがいる。あなたは、生きているだけで、許されている。」

ささいな出来事が人を傷つける。

ささいな出来事が人を幸せにする。

出来ることなら、優しい言葉を使いたい。

足元に幸せはたくさんあります。その道しるべを信じて歩んでけば、それがあなたの輝く道。

優しくしてもらったら、その優しさを、相手にかえせなくていい。誰かほかの相手でもいい。優しさの恩返しをしてみてくださいね。

「優しくしてくれて、ありがとう。今度はわたしから、あなたに優しさをおくります。」

時間がながれ、あなたを助けてくれることもたくさんありますからね..

私は、あなたの笑顔が見たいです..

最後に、夏合宿の時に読んでいた本できれいな言葉がありました。

Bloom where God has planted you.

(Hiroko)



# Voice

## —不登校を経験した立場として—

不登校について言われていること、経験してきたこと等、つづっていきます。(無断転載厳禁)

私たちマイペースプロジェクトは年間100を超える講演会コンサートをお届けしています。活動を通じて「不登校・ひきこもり」に対して大きく見方が変わりました。今回はそのなかで2つお話をさせて頂きたいと思います。

JERRYBEANSの彼らと会ったのは7年前。当時、彼らは生きる喜びにあふれた青年たちでした。彼らが不登校でひきこもりだとは、全く想像できません。なぜなら私がイメージしている不登校・ひきこもりとは大きく違ったからです。「なぜこんなにも明るくいられるんだろう？」素直に興味を湧きました。「立ちなおった経験を多くの人に伝えて欲しい」そう感じました。

不登校だからと言って暗い訳じゃない…。怠けたりさぼったりしてる訳じゃない…。彼らは感受性が豊かすぎて、人に対して純粹すぎるんだ！

また「能動的な不登校」もある事を知りました。「僕の求めているものは学校に無い」和歌山で出会った彼はそう言いました。

先入観で判断するのは大きな間違いだと気づきました。

そしてもう一つ、非常に大きな可能性に気づきました。ひょっとすると今の日本の閉塞感を打開するのは

不登校・ひきこもりの子じゃないか！？  
そんな可能性です。  
出会ってきた彼ら彼女たちは独特の感性・考え方を持っていました。  
一般人では到底発想出来ないものです。  
私自身、毎回驚きと発見の連続です。

挫折も落ちこぼれた事も無いいわゆるエリートがこれまでの日本を作ってきた。  
その弊害があちこちで現れています。  
必要なのは違う視点からの発想です。  
その時彼らの力が要ると信じています。

しかも不登校・ひきこもりだと言われても精いっぱい生きている強さを彼らは持っています。

この力を社会に活かさないか！  
きっと新しい日本が作り出せるはず！  
今、私の頭の中はそれで一杯です。

不登校だった子どもが、将来安心して生きていける社会の実現を、マイペースプロジェクトは目指します。

NPO 法人マイペースプロジェクト  
理事長 小梯泰明



「学校行かへんて死ななあかんほど悪い事なんか！」

この言葉は僕が小学校5年生の時に母に言われた言葉です。

僕は今「NPO 法人マイペースプロジェクト」というチームで活動しています。

マイペースプロジェクトとは僕を含め元不登校の3人のバンド JERRYBEANS(ジェリービーンズ)と手話シンガーの yokko がステージに立ちコンサートと講演会を一緒にした「講演 LIVE」というスタイルで全国の学校や施設や作業所など様々な場所で「心の授業」を行っているチームです。

僕は小学校5年から不登校になりました。小さい頃から人に自分の感情を表現するのが苦手な子どもで学校では一度も泣いた事はありませんでした。

そのせいかはわかりませんが3年生になった頃朝登校する前にお腹や身体のあちこちが痛くなるようになりました。

それから少しずつ遅刻するようになって5年生になる頃には昼前に登校する日もありました。



遅刻するようになってからこんどは人の目が怖くなっていました。

遅刻して、それでも学校に行く今の自分なりの精一杯。

それも誰にも認めてもらえない。そして少しずつ自分がみんなからはぐれたような気

持ちになっていきました。

教室に入るとその輪にとけ込めない自分がいて

「自分はよそ者」みんなもそう感じていると、そう思い込んでいました。

そして5年生になって、その頃の僕の心はもう限界でした。

なんとかがんばろうとしたのですが何を頑張ったらいいのかその方法もわからなくて周りの「がんばれ」って言葉に押しつぶされそうになっていました。

わからなくて大人に答えを求めるしかなくてそして、5年生になって少したった日の放課後先生に言われた一言がきっかけで僕は学校に行けなくなりました。

それは勉強の遅れで学校に居残りしていた時の事きっと先生に悪気はなかったと思います。

「字い汚いな。」たったその一言で迷っていた自分の心に答えを出してしまいました。

「そうか、自分はダメなやつなんや。」子ども心にそう決めつけてしまいました。その次の日から学校に行けなくなりました。

自分は悪い事をしているそんな気持ちでいっぱいだよけいに周りの目が怖くなりました。

親にもどう思われているのかが怖くてどうしようもなく申し訳ない気持ちでいっぱい

こんな自分はこの世界にいたら迷惑なんだって思うようになりました。

その頃、丁度テレビが「いじめ」にあい自殺した少

年の話題で騒いでいました。  
それで自殺の事について興味をもつようになりました。

今思えば「自殺」をただ自分の存在を確認するための一つの方法だと思っていたのかもしれませんが。

そしてある日、たまたま母親の飲んでいた睡眠薬を見つけました。

気づかれないようにそっと胸に忍ばせて  
その薬を部屋にこっそり持って帰りました。  
部屋に戻って座って薬を出しました。

今から死のうとしているのになんの感情も湧きません。  
そして薬を飲もうとした。

その時、「ドンッドンッ」  
家の中でもものすごい音がしました  
「ドンッドンッ」  
その音が近づいてきます。  
「バタンッ」  
ドアが開きました。

母親でした。

そして薬を手に持った僕を見て今まで見た事もないような顔で急に僕を抱きしめました。  
「あんた、あんたなんか悪い事してるんか！」  
「学校いかへんって死ななあかんほど悪いことなんか！」  
「お母さんはあんたがいてくれるだけでいいんや  
あんたが元気に生きてくれたら  
それだけで十分なんや  
あんたがなにをしたって、誰がどう思ったって  
お母さんはあんたの味方やねんで」

そう言って、抱きしめながらぼろぼろ涙をこぼしました。

人前で一度も泣いた事のなかった僕はその時

本当に心から涙が溢れて止まりませんでした。  
「僕は生きてもいいのかな」  
そう思えました。

お母さんは僕が泣き止むまですっと抱きしめていてくれました。

今僕はその時の気持ちを伝えています。

あの日の僕のように自ら死のうとするような  
そんな人が一人でも生きたいと思える世界を願って。

NPO 法人マイペースプロジェクト 山崎雄介

MyPaceProject  
<http://mypace-project.org/>

この、「Voice—不登校を経験した立場として—」では、不定期で、いろんな立場で不登校を経験した方の「生の声」を掲載していく予定です。掲載にあたっては、本人の承諾をいただいた上で掲載をしています。

個人名や年齢などが特定されると編集者が判断した場合、その箇所を編集し、再度本人に確認をとった上で掲載することがあります。他、一部をのぞき、いただいたままの文で掲載をしています。



## 伝言板

### ○ 賛助会員・カンパのお願い ○

ラヴニールの活動のため、財政的援助をいただけると、大変助かります。

ただいま賛助いただいた資金は、調理器具、ボードゲームなどの子どもと大人が混じって遊ぶもの、

クッションなどの環境を整えるものを購入する資金として、大切に使用いたします。

皆さんからの暖かいお気持ちが、ラヴニールの活動をより充実したものへと発展させるきっかけとなります。

ご支援いただきました場合は、賛助のお礼として通信「ラヴ・ノート」と、イベント情報等をお送りいたします。

振込み先(郵便振替)

口座番号 00910-1-171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

それ以外の銀行から

ゆうちょ銀行 店名 ○九九店

預金種目 当座 口座番号 0171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

一口 3000 円/年 複数口のご応募  
大歓迎です

ぜひ、支援をよろしくお願いいたします。

郵便振替の場合、氏名、住所と、費目(賛助会費として、等)、寄付をいただいた方としてこの通信に氏名掲載の可否(氏名の掲載可、イニシャルの掲載可、不可のいずれか)を備考欄に明記のうえ、よろしくお願いいたします。

## ○ 譲ってください! ○

現在希望が出ているのは、次のとおりです。ご家庭にあるもので、現在お使いになられていないものがありましたら、ぜひ、お譲りください。

下記以外にも、フリースクールの活動に役立ちそうなものがありましたら、ご一報ください。

## 急募! パソコン用カラープリンタ

なんと、カラープリンタが、突然、ウンともスンとも

言わなくなりました。現在、ラヴニールにはカラープリンタがありません。カラープリンタがないので、活動の様子を紹介する写真のプリントに、大変困っています。

もし、お譲りいただけるという方がいらっしゃいましたら、ぜひ、譲ってください!

(エプソン社のものを使用していますが、メーカー不問。あまりこだわりはありません)

その他、現在希望が出ているもの

ボードゲーム、カードゲーム、

…などなど。

他、マンガや教材なども大歓迎です。

## ○ ブログ・twitterのご紹介 ○

ラヴニールの日ごろの活動の様子や思うことを、ブログではできるだけ写真をつけて、twitter ではできるだけリアルタイムで書き綴っております。

ラヴニールに関すること、フリースクール同士の間でのイベント、ネットワークのこと、会議のことなども、少々ながら掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

## ひとこと

今年の秋は、なかなか涼しくならないなあ…。いつまで暑いのか? と思っていたら、急に寒くなりましたねえ(いや、きっとこれが例年の10月)。一気に長袖やお鍋、毛布が恋しくなりました。(ロコ)

どんな時も自分に優しく…

えがおで毎日を… (HIROKO)

ずりばい&寝返りで移動手段を確保しつつある息子(七ヶ月)。だんだん興味の幅が広がってきているなあ。ありがたいことにみんなにかわいがられています。いつもありがとうございます

(あすみ&あきひで)

巷ではモンハンブームが落ち着き、ポケモンが流行っているらしいですね。残念ながら自分は3DSを持っていないのでどちらも買っていませんが…  
自分もメガ進化したいと思うこの頃です。  
(Yoshi)

## 編集後記

通信のレイアウトを、少し変えてみました。変えた場所が団体名などの部分なので、一発でわかっていただけたかと思います。他は特に変わっていませんが、これまで表紙に1ページを要していたのを、1/3ぐらいに収めることで、たくさんの内容を掲載できるようになりました。  
(なぜ今までそうしなかったの？ というツッコミはナシをお願いします)

さて、前回の予告どおり、今回は合宿づくりの通信です。夏合宿のオープニングに登場いただいたJERRYBEANSさんがとにかく印象に残っていて、ぜひ、今回の通信に原稿を寄せていただけないか、とお願いしたところ、快諾をいただきました。本当にありがとうございます。

この声が、一人でも多くの方に届きますように。  
何よりも大事なことは？ 常に問い続ける中で、JERRYBEANSさんの、マイペースプロジェクトさんの活動は、本当に励みになっています。

## おことわり

本来ならば、今回の通信では、9月15、16日に東京で開催された「フリースクールスタッフ『養成・研修講座』」についても内容報告の期間内なのですが、合宿というひとつのテーマで統一するため、次号掲載といたします。

志塾フリースクール「ラヴニール」

対象年齢 6歳から18歳  
(高卒資格コースのみ20歳まで)

活動時間 月曜から金曜の10時から17時  
原則土・日、祝日、年末年始  
お盆前後はお休みです  
(変更の可能性あり)

入会説明 月に1度土曜日に合同説明会、他、随時行っております  
体験入会期間(2週間)は無料でご利用いただけます

代表 林 裕子

スタッフ 常勤1名、他非常勤数名

住所 544-0023

連絡先 大阪市生野区林寺2-25-24  
JR 大阪環状線寺田町駅  
関西本線東部市場前駅、  
ともに徒歩12分  
他、あべの橋方面よりバスあり

Tel/fax 06(6776)2629  
(Telは活動時間のみ、faxは24時間)

e-mail lavenir@view.ocn.ne.jp または  
lavenir.since2010@gmail.com

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~lavenir/>

Twitter <http://twitter.com/#!/lavenir65>

ラヴニール通信「ラヴ・ノート」

発行日 : 2013年10月18日

発行者 : 志塾フリースクール「ラヴニール」

発行人・編集: 林 裕子

この「ラヴニール通信『ラヴ・ノート』」は、  
**公益財団法人「俱進会」**の助成金を使用し、  
印刷・発行しています。



